

令和2年度 構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座【日曜コース】日程表(4月開講)

●早期受講

・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間))を令和元年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年7月上旬	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2	7月上旬	1時間		たわみ、降伏と終局	
3	~	1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年10月下旬~	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間		鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

早期学習期間
(本講座前の基礎を固める)

●構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座 (令和2年)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等	
1	4/12(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認1	ガイダンス 保有水平耐力計算 鉄骨造	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について当週完結確認テストをマスターする ・講義の流れ
2	4/26(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認2	鉄筋コンクリート造 免震構造・制振構造 基礎構造	ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習
3	5/10(日)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認3	木造 混構造 構造計画・モデル化 限界耐力計算 非構造部材 経験記述	演習確認問題 ↓ 復習テスト
4	5/24(日)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(1)	令和2年度模擬修了考査(1)(法適合確認)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う 添削あり
5	8/2(日)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	法適合確認4	平成28年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了考査問題を利用して行い、実戦力を高める
6	8/16(日)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	法適合確認5	平成29年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
7	8/30(日)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	法適合確認6	平成30年度修了考査(法適合確認)演習・解説	・講義の流れ 修了考査演習 ↓ 解説 ↓ フォローアップ学習
8	9/13(日)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	法適合確認7	令和元年度修了考査(法適合確認)演習・解説	添削あり
9	9/27(日)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了考査(2)	令和2年度模擬修了考査(2)(法適合確認)演習・解説	・本考査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る 添削あり

前半期間(インプット)

考修模
査了擬

後半期間(アウトプット)

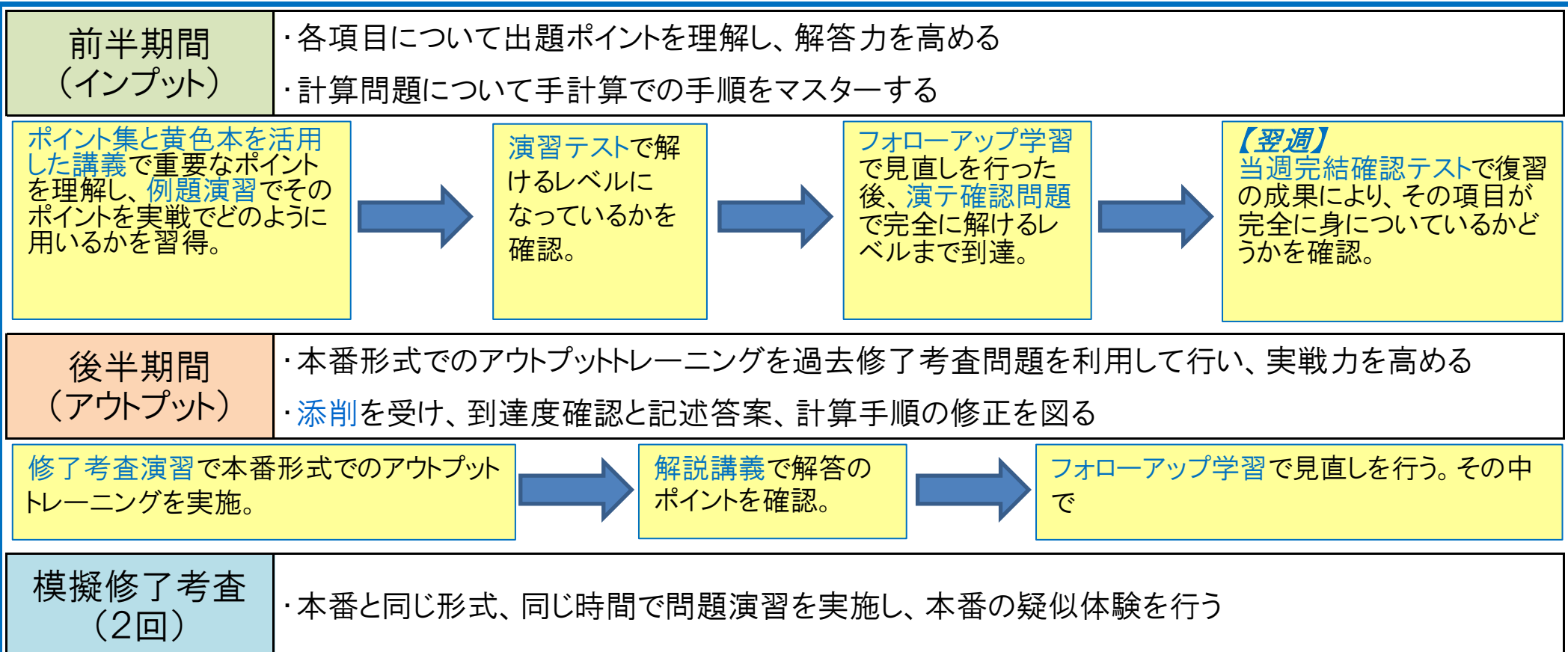
考修模
査了擬

添削指導

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月上旬~下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10月中旬~下旬 構造設計1級建築士講習 修了考査

総合資格学院



結果に対する添削指導だけでなく、
め細かいたし算手
記述の
結果
の
対
し
る
添
削
指
導
を
行
う
に
対
す
る
き

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意

構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了考査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。

令和2年度 構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座【水曜コース】日程表(4月開講)

- 早期受講
・先行講座(本講座の基礎となる「構造力学」(3時間))を令和元年7月上旬より先行受講可能(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年 7月上旬～	1時間	構造力学	トラス、振動・剛性マトリックス、座屈	代表的な構造力学の問題解法を確認する
2		1時間		たわみ、降伏と終局	
3		1時間		曲げによる降伏と終局、水平力の分担	

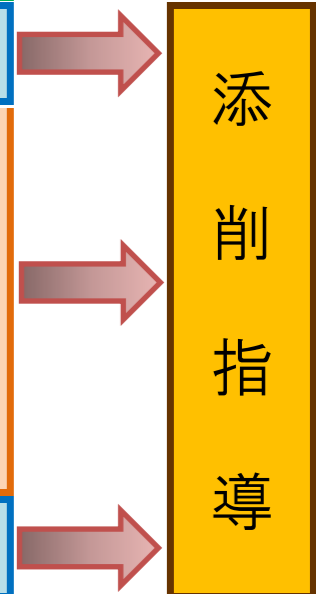
・構造設計1級建築士 必修項目習得講座(12.5時間)(通学映像&e講義)

回数	日程	時間	科目	内容	学習目標等
1	令和元年 10月下旬～	1.5時間	構造力学	静定構造物、断面の性質と応力度、部材の変形、不静定構造物1	建築構造の基本事項を確認する
2		2.0時間		不静定構造物2、座屈、振動、骨組の塑性解析	
3		2.0時間	各種構造・材料	構造設計の基礎、構造計画等	
4		1.75時間		鉄骨造	
5		1.75時間		鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造	
6		1.75時間		基礎構造	
7		1.75時間		木造、その他の構造等、建築材料	

早期学習期間
(本講座前の基礎を固める)

●構造設計1級建築士 法適合確認 対策講座(令和2年)

回数	日程		時間	科目	内容	学習目標等		
	4月開講							
1	4/15(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認1	ガイダンス 保有水平耐力計算 鉄骨造	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする ・講義の流れ	前半期間(インプット)	
2	4/29(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認2	鉄筋コンクリート造 免震構造・制振構造 基礎構造	ポイント集と黄色本を活用した講義&例題演習 ↓ 演習テスト ↓ 演習テスト解説 ↓ フォローアップ学習		
3	5/13(水)	9:00~14:30	5.5時間	法適合確認3	木造 混構造 構造計画・モデル化 限界耐力計算 非構造部材 経験記述	当週完結確認テスト 演習テスト 演習確認問題 復習テスト		
4	5/27(水)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了審査(1)	令和2年度模擬修了審査(1)(法適合確認)演習・解説	・本審査の予想問題での実戦形式演習と添削で、中間期での到達度確認と学習対策を行う	考修模 査了擬	後半期間(アウトプット)
5	8/5(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認4	平成28年度修了審査(法適合確認)演習・解説	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了審査問題を利用して行い、実戦力を高める	添削あり	
6	8/19(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認5	平成29年度修了審査(法適合確認)演習・解説	・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る		
7	9/2(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認6	平成30年度修了審査(法適合確認)演習・解説	・講義の流れ 修了審査演習 ↓ 解説 ↓ フォローアップ学習		
8	9/16(水)	9:00~13:00	4時間 (演習3h+解説1h)	法適合確認7	令和元年度修了審査(法適合確認)演習・解説	フォローアップ学習		
9	9/30(水)	9:00~13:00	4時間(演習3h+解説1h)	模擬修了審査(2)	令和2年度模擬修了審査(2)(法適合確認)演習・解説	・本審査の予想問題での実戦形式演習と添削で、到達度確認と最終修正を図る	考修模 査了擬	



※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月上旬～下旬(公財)建築技術教育普及センター講習受講(2日間)
10月中旬～下旬 構造設計1級建築士講習 修了審査

総合資格学院

前半期間 (インプット)	・各項目について出題ポイントを理解し、解答力を高める ・計算問題について手計算での手順をマスターする
<p>ポイント集と黄色本を活用した講義で重要なポイントを理解し、例題演習でそのポイントを実戦でどのように用いるかを習得。</p> <p>→</p> <p>演習テストで解けるレベルになっているかを確認。</p> <p>→</p> <p>フォローアップ学習で見直しを行った後、演習確認問題で完全に解けるレベルまで到達。</p> <p>→</p> <p>【翌週】当週完結確認テストで復習の成果により、その項目が完全に身についているかどうかを確認。</p>	
後半期間 (アウトプット)	・本番形式でのアウトプットトレーニングを過去修了審査問題を利用して行い、実戦力を高める ・添削を受け、到達度確認と記述答案、計算手順の修正を図る
<p>修了審査演習で本番形式でのアウトプット</p> <p>→</p> <p>解説講義で解答のポイントを確認。</p> <p>→</p> <p>フォローアップ学習で見直しを行う。その中で</p>	
模擬修了審査 (2回)	・本番と同じ形式、同じ時間で問題演習を実施し、本番の疑似体験を行う

結果に
対する
添削
や指
導計
算だ
けを
手
行
順
で
な
す
。対

※講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

■ご注意
構造設計1級建築士講習テキスト(通称:青本)は、本講座の教材に含まれません。なお、本講座の教材である「ポイント集」「修了審査問題集」に掲載している青本での該当するページ番号は、前年度の青本をお持ちの方向けの参考情報です。お持ちでない方は、本講座の受講には支障ありませんが、当年度版配付後にご活用下さい。